

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
バケツで稲を育てよう	中	生活 (理科)	中川千恵美

<ねらい>

- ・毎日食べている米の生長過程を知る。
- ・植物を育てることに興味・関心をもち、生長の変化に気づく。
- ・米を育てて、収穫の喜びを感じる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ①芽だし
(5月2日)
 - ・食塩水に^{もみ}粳を入れ、良い粳と悪い粳の選別。（良い粳は沈む。）
 - ・トレーに薄く水を張り、粳を入れ。芽が出るまで毎日水を変える。
- ②種まき
(5月9日)
 - ・バケツに培養土、水を入れ土作り。
 - ・土に人差し指一本分の穴をあけ、そこに芽が出た粳を入れる。
- ③苗の移し替え
(6月13日)
 - ・粳から出た芽がグングン大きくなったので、苗の数を減らす。
 - ・中心にあるだけの苗を残す。
- ④水やり
(毎日)
 - ・バケツに深さ5cm程の水を張る。なくなったら水を足していく。
- ⑤収穫
(10月10日)
 - ・穂が出て45日くらい、見た目が90%くらい、粳が黄金色になったに収穫をする。その後10日間ほど乾燥をさせる。
- ⑥精米
(10月17日)
 - ・茶碗を使用して脱穀をする。
 - ・粳をすり鉢に入れ、軟式の野球ボールでこすって粳殻を外す。
 - ・もみ殻をとった玄米を瓶に入れ、太めのめん棒について精米をする。
- ⑦調理実習
(11月28日)
 - ・精米した米を炊いておにぎりづくり！

<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・おにぎりを作るために米づくりをする！という設定で取組を始めたため、秋におにぎりを作れることを楽しみにしている様子が見られた。
- ・毎回観察をすることで、生徒自身で生長に気づくことができた。
- ・米ができるまでに長い期間かかること、週1回の授業なので生徒がなかなか水やりをできないことなどから、ほとんど教師が米の世話をしていた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・バケツ
- ・バケツ稲づくり種もみ、肥料セット（JAグループより）
- ・バケツ稲づくり観察ノート（JAホームページより）